

2023年3月12日（日）／説教者：神谷武宏

説教：「あなたはメシア、生ける神の子です」

聖書：マタイによる福音書16：13～20

シモン・ペトロは、イエスに対し「あなたはメシア」と告白する。この告白は勢いで語っているようにも見えるが、この告白をした場所、「フィリポ・カイサリア地方」（13節）には、ローマ皇帝を神として礼拝する神殿が建っていた。この場所でイエスは「生ける神の子です」と告白したのである。ペトロの告白には、緊張感、危険が伴っていたかと思う。

イエスは、シモンの告白を受けて「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」（18節）と言う。イエスはどのような意味で「ペトロ（岩）」と呼んだのか。ここは、“頑丈な岩の上に立派な教会を建てなさい”という意味ではない。教会とは「メシア告白」の上に立つということである。

もう一つ。「イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた」（20節）とある。並行箇所であるマルコ福音書では、シモン・ペトロの「メシア告白」を褒めるかのようなイエスの言葉はない。むしろ、その告白を叱るように「戒め」ている。何故イエスは、ペトロの「メシア告白」を褒めたかと思えば、激しく退け戒めるのか？

この「あなたはメシア、神の子」とは、福音書では悪魔もイエスのことを「神の子」と呼んでいる。マタイ福音書4章にある「悪魔の誘惑を受ける」話の中で、悪魔は空腹のイエスに対して「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ」と誘惑する。悪魔もイエスを「神の子」と認めている。では、ここでの悪魔の誘惑は何だったのか？それは、この世に人として生きるイエスに対して「メシア、神の子」の力を使ったらいいじゃないか。神の子なのだから。石をパンに変え、神殿の屋根から飛び降り、神の力を人々に見せつけたらいいじゃないか、神の子なのだからと、悪魔の誘惑は、この世に生きるイエスに人間として生きることを諦めさせることであつた。しかしキリストは徹底して、神の身分でありながらも神と等しい者であることに固執しようとは思わなかった。人間の姿で現れ、へりくだって死に至るまで、それも十字架の死に至るまで人間だった（フィリピ2：6～）。ペトロの「メシア告白」を激しく退けたのは、この世に生きるイエスに神の称号はいらないという、徹底したこの世に生きるイエスの姿がある。

教会はいつの時代でも、どの時代においても、イエスを「あなたはメシア、生ける神の子です」という告白に立ちつつ、イエスが一人ひとりに向き合ってくださいましたように、社会の不条理な在り方にモノ申したように、教会は徹底して深く“現在に生きる”と言うあり方に立ちたい。受難節（レント）の折、今一度、イエスの十字架の歩みに触れて行きたい。（神谷）